

株式会社 中央コーポレーション



橋梁、水門などの社会インフラ整備を手掛ける中央コーポレーション
鋼と建設の高度な技術で、社会に貢献

●時代の变化を読み、社会インフラに携わって57年
弊社の創業は1951(昭和26)年、私の祖父高橋吉助が中央製作所を個人で創業しました。1965(昭和40)年に株式会社化し、1967(昭和42)年に本社を現在の花巻市東宮野目に移転、工場を新設して鉄工業の基礎を築きました。



1975(昭和50)年、私の父佐々木郁夫が第2代社長に就任し、主力としていた建設業、鉄工業、石油油脂販売業を3社に分社し、それぞれ健全成長を果しました。
2003(平成15)年、前年に社長に就任していた佐々木史昭が、時代の変化に合わせて中央製作所と中央建設工業を合併し、株式会社中央コーポレーションを設立。2015(平成27)年に創立50年を迎えました。

●橋梁、水門、陸閘のスペシャリストが社内揃う
主力事業は橋梁、水門、陸閘など、鋼製社会インフラの整備です。鋼製橋梁に代表される社会インフラの整備には、設計、製作、架設据付、メンテナンス、補修補強などの工程があり、すべての工程を理解していなくては、個々で状況の異なる既設の社会インフラに最も適切な整備を行うことは



出来ません。当社は長年の実績と技術の蓄積により、社内各工程にその分野のスペシャリストが揃っており、必要な技術を社内でもかなうことができ、ほぼすべての工事を社内ですべて完結させることが出来ます。
東日本大震災においては、岩手県鉄構組合と連携し、発災翌日から岩手県沿岸部の水門、陸閘等600箇

Episode

10年連続県代表の技術力で社会インフラの整備に取り組む

代表取締役社長 佐々木 史昭

所以上にわたり、現地被害調査や応急復旧対応に取り組みました。震災後3年が経過した頃から橋梁、水門関係の復旧・復興工事が本格化し、弊社で約150箇所以上の大型橋梁、水門、陸閘を設置いたしました。20年以上前であれば、大手橋梁・水門メーカーでなければ施工できない大規模で難易度の高いものばかりでしたが、震災直後の応急対応や、当社が長年蓄積してきた技術力を岩手県当局に評価頂き、完成後のメンテナンスも考慮し、県内企業で施工出来るようになったもので画期的なことだと思います。



また、弊社はJR東日本向けの鉄道橋など重要鋼構造物の製造を震災

前から直接請け負っており、道路橋以上に高度な溶接技術管理が求められる鉄道橋の基準を満足する技術、人材、組織が整い、JR東日本から非常に高い評価をいただいています。鉄道では100年近く使い続けられている鉄道橋がたくさんあり、現在の基準を満たす鉄道橋に順番に架け替えられていかなければなりません。大きな鉄道橋は大手橋梁メーカーが争う厳しい世界ですが、規模が小さく手間の掛かる中、小規模の鉄道橋も、要求される技術基準は同様でニッチな分野となっており、当社がお手伝いしなければJRの架け替え計画が進まない状況も生まれています。



「ここがすごい」
“オンリーワン”
ポイント

鋼と建設のスペシャリストとして、全国トップレベルの溶接技術者を育成し、東北・関東を舞台に活躍を続ける

中央コーポレーションでは人材育成の体制を整え、溶接技術選手権の全国大会へ岩手県代表として10年連続で出場者を輩出している。社員の多くは岩手県出身者。溶接という匠の技術だけではなく、社会インフラ整備のための新技術開発に力を入れ、国土交通省新技術登録システム(NETIS)に3件の独自技術を登録し、技術革新に貢献している。岩手県民らしい勤勉な社員が多く、東日本全域で厚い信頼を得て、高度な技術で社会貢献を行うオンリーワン企業である。

健康経営優良法人2022で認定 社員一人ひとりの健康が、 全社の健全経営につながる

全社で歩数チャレンジに取り組み、スマートフォンのアプリを用い、平均歩数8000歩を目指し、5人1チームとなって毎週チームランキングを共有し、成果を上げています。さらに「1オン1ミーティング」を3か月毎行い従業員のメンタルヘルス向上やモチベーションアップに効果を上げています。



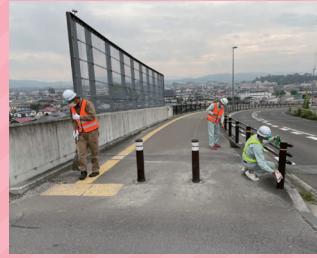
高校生のインターシップの 受け入れ

地元の高校生を対象にインターンシップを受け入れ、橋梁や水門など社会インフラの製作・据付を経験してもらっています。現場の見学からはじまり、普段の業務とほぼ同じプロセス、システム、設備を使いながら、製造の実体験をもらい、好評を博しています。



社会貢献活動

当社は、地域とともに存在し、地域への恩返しを形にすべく、長い間地域貢献活動を続けています。当社ならではの地域貢献として、橋梁技術力を活かし地域の橋梁清掃、点検ボランティアを2000年から毎年欠かさず行っています。



全国溶接技術競技会で 同社社員が全国5位入賞

2022年4月に三重県で開催された「2021年度第66回全国溶接技術競技会」にて、岩手県代表として出場した当社社員が炭酸ガスアーク溶接部門で見事全国第5位入賞。当社から過去10年連続岩手県代表として全国大会に出場し、2回ベスト20入りしていますが、史上最高を更新しました。



●全国大会に10年連続出場 受け継がれていく技術

弊社社員の多くは岩手県出身者です。レベルの高い技術・技能を身に付けた即戦力が入社することは珍しく、社内勉強会など社員スキルアップの体制が整っているため、未経験者でも入社後に安心して技術を修得することができます。当社でなければ出来ない技術は当社の利益の源泉であり、これからの人手不足の時代に、その価値は益々高くなると考えています。

大切なのは仕事に向かう姿勢です。弊社には岩手県人ならではの真面目で仕事に誇りを持って取り組む人材が多く、絶え間ない技術向上につながっています。

特に溶接においては、毎年行われている岩手県溶接技術選手権のアーク溶接・半自動溶接2部門のうち少なくとも一部門で優勝し、岩手県代表として10年連続で全国大会に出場しています。令和3年度の全国大会では、トヨタ自動車、三菱重工などの大手企業と並んで、当社社員が全国5位に入賞しました。入社後に溶接を始めた30歳台前半の社員ですが、彼に限らず弊社には技術と人間性に溢れる魅力的な社員がたくさんおり、日々一緒に働く

ことで、高い技術が先輩から後輩へと受け継がれています。

岩手県溶接協会が主催する地域貢献事業「岩手県高校生溶接技術競技大会（溶接甲子園岩手県大会）」に際しては、弊社の溶接選手権優勝経験者を初めとする4名の社員が社会人講師として岩手県内の工業高校4校へ溶接出前授業を行っており、それがきっかけでものづくりに興味を持つようになり、岩手県内の企業で溶接を行いたい、と当社を志望する学生さんも増えてきました。

溶接ばかりでなく、当社には各工程を担う様々な部署があり、工務部や品質管理部で生産技術を担当したり、技術部で詳細設計を行ったり、工務部で現場監督を行ったり、関東営業所や東北営業所で営業を行ったりなど、社内にも多くの職種があり、社員の個性にあつた配置調整をすることが可能で、社員の新たな可能性を切り拓くことにつながっていると思います。

●「CDS」で各工程を “見える化”

「人」の技術力とともに力を入れているのが、製造工程を“見える化”するシステムの構築です。弊社では毎日製造だけでなく様々な物件が流れ、切断、

孔開、組立、溶接、仮組立など、多くの工程が並行して行われていますが、昨年から各工程の計画と進捗状況を日々見える化し、社内ディスプレイで表示しています。

「CDS（中央コーポレーション出来高管理システム）」と呼んでいます。社内で一年ほど協議し、地元のシステム会社にオーダーメイドして仕上げました。各社員が自分の担当している物件進捗度をリアルタイムで確認することが出来、現在では、ほぼ毎日各物件・各工程で計画達成度100%を続けています。さらに、社員が毎日付けている日報をデジタル化し、CDSに統合してデータベース化する計画「CNF（中央コーポレーション日報フォーム）」を進めており、一層の業務効率化を進めるべく独自のDXに地元企業と共に取り組んでいます。

●メンテナンスを通して 社会に貢献

東日本大震災の復興工事はほぼ終了に近づいており、当社が担ってきた鋼製社会インフラの復興工事もピークを過ぎつつあります。当社の設置した水門・陸開はこれからも24時間365日、常に確実に稼働しなくてはならず、管理者である岩手県や各自自治体の

付託を受け、確実な定期点検・整備・メンテナンスを行うことが、当社の業務の新しい柱となりつつあります。

社会インフラの整備は地元これに担う企業があれば、健全に長寿命化し、地域経済の潤滑剤になります。もしなければ、高い費用を支払って岩手県外の企業に頼まなければならず、岩手県民のコストになってしまいます。地元企業が請け負えば、地元人材の雇用機会となって地域経済にプラスになり、技術も蓄積し、人材も育っていきます。当社は岩手県の社会インフラを支える誇りを胸に、地域経済へ貢献している高いプロ意識をもって、日々明るく朗らかに仕事に取り組んでいます。

ありがたいことに、当社は震災復興後も受注高は落ちておらず、岩手県内の受注額が落ちた分関東営業所の受注額が増え、全社ではほぼ同様の受注状況が確保されています。これは当社の社会インフラを担う技術力が岩手県を越えて広く社会に認められている証であり、岩手県の企業として東日本全域の社会インフラの整備に携わっている誇りをもって仕事に取り組むよう社員には伝えていきます。

こんな人を求めています!

我々が求める新入社員への将来的な人材像

- point 1 いわてを愛する人
- point 2 正直な人
- point 3 心身が健康な人



詳しい募集内容は
こちらから



企業見学
いつでも歓迎
しております

株式会社中央コーポレーション

〒025-0003 岩手県花巻市東宮野目第11地割5番地
TEL.0198-26-3033

- 設立/1951年
- 従業員数/140名
- 事業内容/鋼製橋梁、水門、陸開などの社会インフラの設計・製造・架設据付・メンテナンス JR向け全国鋼鉄道橋、JESエレメント、鉄道施設など 金属溶射・防食など、建築一式など

会社沿革

- 1951年 中央製作所として建設業を開業
- 1965年 株式会社中央製作所として組織変更
- 2003年 株式会社中央コーポレーションと商号変更
- 2005年 東北営業所(仙台市)を開業
- 2015年 創立50周年記念式典を開催
- 2019年 関東営業所(さいたま市)を開業